

クラックス京都店利用規定及びご利用時の注意点

1. 施設利用資格について

- ・ 施設利用規程、施設内の注意事項、スタッフの注意を理解し厳守してください。
- ・ 「施設利用にあたっての合意事項」を全て理解されている方はご利用可能です。
- ・ 健康状態に異常のある方はご遠慮ください。
- ・ 中学生以下のご利用には保護者の同伴が必要です。
- ・ 高校生以下のご利用には保護者また成人引率者の同意書が必要です。

2. 施設利用について

- ・ 施設内は禁煙です。一切の火気の取り扱いを禁止します。
- ・ 酒気を帯びた方のご利用、施設内での飲酒はお断りします。
- ・ ゴミは指定のゴミ箱をご利用ください。
- ・ 粉状態でチョークの使用は禁止です。チョークボールや液体チョークをご利用ください。
- ・ 着替えは更衣室をご利用ください。
- ・ 貴重品は各自保管して頂くか、受付へお預けください。紛失や盗難の責任は負えません。
- ・ クライミング用品を施設内に残置される場合、紛失や盗難の責任は負えません。
- ・ クライミングエリア内は土足禁止です。
- ・ クライミングシューズを履いたままトイレのご利用はご遠慮ください。
- ・ 飲食は他のお客様の邪魔にならない場所でお願いします。
- ・ 駐車場はございません。お車でお越しの方は近隣の有料駐車場をご利用ください。路上駐車は厳禁です。
- ・ クラックス専用の駐輪場がございます。二輪車でお越しの方はそちらをご利用ください。場所に関しては受付横の案内図をご覧ください。
- ・ ビル内の他のテナントに迷惑をかけるような行動は謹んでください。

3. ボルダリングについて

- ・ 自分が登るラインの下に人がいないことを事前に確認してから壁に取り付けてください。
- ・ 他の人のクライミングの邪魔にならないことを確認してから壁に取り付けてください。
- ・ ボルダリングエリア内では登っている人の下や墜落してくる場所に入らないでください。
- ・ 飛び降りる時は着地場所を確認し、安全な体勢で降りてください。
- ・ マットは墜落の衝撃を和らげる事が目的であり、捻挫や骨折の可能性は存在します。マットを過信せず、余裕をもって飛び降りるよう心がけてください。
- ・ ランプという床の斜めになっている所はフロアが硬めです。他のエリアよりも高い着地技術が求められます。補助マットを用いて着地に気をつけてください。
- ・ 落下の際に柱や壁、マット外の床等に頭をぶつけないよう気をつけてください。不安な時はスポッターをつけて登るようにしてください。
- ・ クライミングエリア内で座って待機する場合は周りからの墜落に注意してください。また他のご利用者の邪魔になるような場所に座り込まないようお願いいたします。
- ・ 小学生のご利用は必ず保護者の方が付き添って登ってください。保護者のいない場所で子供だけで登る事は禁止です。
- ・ グループでご利用の場合、他のご利用者の事も考え譲り合って登ってください。壁を占拠するような使い方はご遠慮ください。

4. その他

- ・ ホールドは回転したり破損する可能性があるということを理解して注意してください。
- ・ ボルトやホールドの緩み等、少しでも危険だと思われることがありましたら、直ちにスタッフにお申し出ください。
- ・ テープが剥がれた時はスタッフにお知らせください。

5. 引率が必要なお子様のご利用について

- ・ 別紙の「施設利用にあたっての合意事項」にあります自己責任の概念を理解し行動することが難しい年齢のお子様(小学生以下)のご利用に関しては、保護者もしくは引率者の方も一緒にご利用頂くことをおすすめしております。
- ・ お子様が悪のお客様の迷惑となるような行動をしないよう、また事故を起こさないよう監視してください。
例：場内を走り回る。他社との衝突の可能性のある場所に座り込む。奇声をあげる。クライミングエリア内で飲食をする等。
- ・ お様が危険な体勢で墜落しないよう、常に一緒に登って注意してください。
- ・ 小学生以下のお子様とご利用の際、保護者の方が登っている時はお子様を安全な場所にて待機させてください。

6. クライミングをされないお子様をお連れの方

- ・ クライミングをされないお子様はクライミングエリア内(マットのエリア)へは入れません。
- ・ お子様からは片時も目を離さないよう、常に一緒にいてください。

7. 中高生の部活等団体でのご利用に関して

- ・ 団体でのご利用に関しては別紙の注意事項を厳守してください。

上記利用規定や注意点、及びスタッフの指示に従って頂けない場合、ご利用をお断りいたします。マナーを守り、楽しく安全にクライミングができるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

施設利用にあたっての合意事項 (○印にてチェックしてください。)

当施設はフリークライミング(ボルダリング)を行う施設です。フリークライミングには潜在的に死亡も含む重大な事故に繋がる危険が常に伴います。以下の項目を全て理解した上でご利用頂く必要があります。

ボルダリングについて

ボルダリングとは高さが比較的低い壁(一般的に1~5m)を、ロープを使わず行うフリークライミングです。クラックス大阪店には高さが約4mの壁が設置されています。ボルダリングは落ちると必ず地面まで墜落します。フロアは着地の衝撃を和らげるマットになっていますが、安全が確保されている訳ではありません。着地体勢によっては捻挫、打撲、骨折、死亡事故に繋がる可能性があります。両足で安全な体勢をとって着地するよう心がけてください。 (理解した)

墜落の際に他の利用者と衝突する危険性があります。登っている時や着地の際には下に人がいないか必ず確認し、接触が考えられる場合は声をかけたり、途中で登ることを中断する等、事故を避けるよう努めてください。また逆に登っている人の下や墜落してくるライン付近にいると衝突事故に繋がります。クライミングエリア内に入った際は常に周りの壁とクライマーを観察し、クライマーが落下してくる位置を予測して衝突しない位置で待機してください。 (理解した)

自己責任のスポーツ

フリークライミングは事故(死亡も含む)に繋がる危険を伴うスポーツです。そのリスクを理解した上で、自ら危険を回避しながら登らなければなりません。クライミングとは「自己責任」の上に成り立っているスポーツであることを理解してください。 (理解した)

当施設の利用は、本人及び保護者の決定に基づく自主的なものである。 (はい)

事故の起きる可能性は内容により様々ですが、過去に実際に下記のような事故が起きています。(参考まで)

* 墜落時に着地に失敗し捻挫。 * 補助マットの端に着地し靭帯裂傷。 * 飛び降りた際に下にいた人と衝突し打撲。 * ホールドが回転し墜落し打撲。 * 子供が場内で周りに注意せず走り、落ちて来た人と衝突し打撲。 * 墜落した際にホールドで頭部を打ち出血。 * 墜落した際にホールドで肘を打ち骨折 * 過剰な指への負荷による指関節の炎症。 * 肩から墜落し、脱臼。 * 着地で手をついて手首を骨折。リード中フォールして壁に激突し骨折や頭部裂傷。

上記について理解しました。 署名： _____ 印

日付 _____

上記について理解しました。 署名： _____ 印

日付 _____

(ご利用者が未成年の場合は保護者の方の署名と捺印が必要です。)